

令和8年度 病害虫発生予察情報

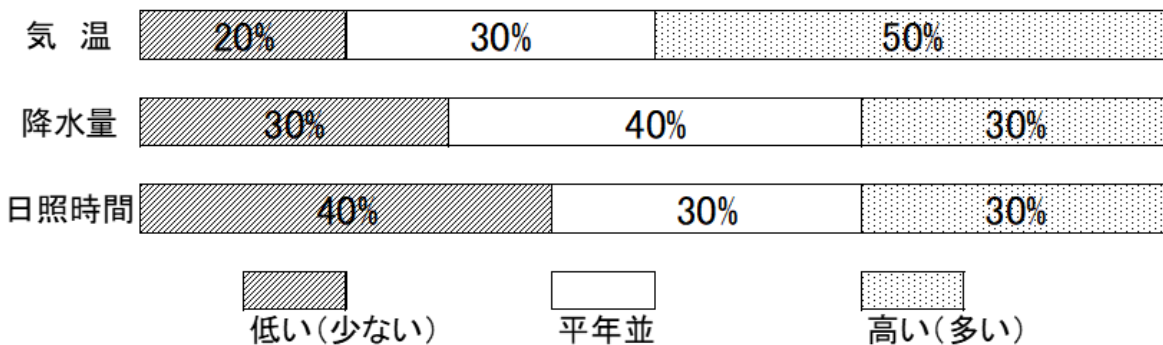
発生予報 第2号（5月）

令和8年5月1日
島根県

予報の概要

区分	農作物名	病害虫名	予想発生量
普通作物	ムギ	さび病類	平年並
		赤かび病	平年並～やや多い
		うどんこ病	平年並
	イネ	ヒメトビウンカ	やや少ない～平年並
		ニカメイチュウ	平年並
		イヌシロムシ	やや多い
果樹	ナシ	黒斑病	平年並
		黒星病	多い
		シンクイムシ類	平年並～やや多い
	カキ	ハマキムシ類	やや多い
		ハダニ類	やや多い
		灰色かび病	やや多い
野菜	タマネギ	かきタアザミウマ	平年並
		ポトリス属菌による葉枯れ	やや多い
		べと病	平年並～やや多い
	イチゴ	腐敗病・軟腐病	やや多い～多い
		灰色かび病	平年並
		うどんこ病	平年並
		アブラムシ類	やや多い
		ナミハダニ	やや少ない～平年並

中国地方1か月予報(5月2日～6月1日・広島地方气象台4月30日発表)
 <向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



A. 普通作物

1) ムギ

(1) さび病類（小さび病、赤さび病）

予報内容

発生地方

県内全域

発生量

平年並

予報の根拠

① 4月下旬の巡回調査では発生を認めていない。

② ムギの生育は平年に比べてやや早い。

③ 5月の気象は、本病の発生にやや助長的である。

(2) 赤かび病

予報内容

発生地方 県内全域
発生量 平年並～やや多い

予報の根拠

- ① 4月下旬の巡回調査では、オオムギで発生が確認されたが、コムギでは発生を認めていない。
- ② ムギの生育は平年に比べてやや早い。
- ③ 5月の気象は、本病の発生にやや助長的である。

(3) うどんこ病

予報内容

発生地方 県内全域
発生量 平年並

予報の根拠

- ① 4月下旬の巡回調査では発生を認めていない。
- ② ムギの生育は平年に比べてやや早い。
- ③ 5月の気象は、本病の発生を特に助長する要因とはならない。

2) イネ

(1) ヒメトビウンカ

予報内容

発生地方 県内全域
発生時期 平年並
発生量 やや少ない～平年並

予報の根拠

- ① 予察灯への飛来は、4月第5半旬まで認めていない。
- ② 4月中旬のすくい取り調査（耕起前）では、発生ほ場率が31.0%（平年29.3%）、捕獲数が0.4頭/20回振（平年0.7頭）となり、発生量はやや少ない。
- ③ 越冬世代成幼虫のイネ縞葉枯病ウイルス保毒虫率は定点調査では0%（平年0.8%）と低い。
- ④ 5月の気象は、本種の発生にやや助長的である。

(2) ニカメイチュウ（第1世代）

予報内容

発生地方 県内全域
発生時期 平年並
発生量 平年並

予報の根拠

- ① 予察灯への飛来は、4月第5半旬まで認めていない。フェロモントラップでの誘殺も4月第5半旬まで認めておらず、平年並みである。
- ② 前年の第2世代成虫の予察灯への飛来は238頭（平年16.3頭）と多い。
- ③ 5月の気象は、本種の発生にやや助長的である。

(3) イネミズゾウムシ

予報内容

発生地方 県内全域
発生時期 早い
発生量 やや多い

予報の根拠

- ① 前年の新成虫の予察灯による誘殺数は202頭（平年101.2頭）と本年の越冬量は平年に比べてやや多い。
- ② 予察灯への飛来は、4月第5半旬までに1頭（平年0.1頭）とやや多い。
- ③ 5月の気象は、本種の発生を抑制する要因とはならない。

B. 果樹

1) ナシ

(1) 黒斑病

予報内容

発生地方 県内「二十世紀」栽培地帯
発生量 平年並

予報の根拠

- ① 4月下旬の巡回調査では発生を確認しておらず、発生量は平年並みである。
- ② 5月の気象は、本病の発生を特に助長する要因とはならない。

(2) 黒星病

予報内容

発生地方 県内ナシ栽培地帯
発生量 多い

予報の根拠

- ① 4月下旬の巡回調査では発病果率1.6%（平年の発病果率0.2%）と、発生量は平年に比べて多い。

② 5月の気象は、本病の発生を抑制する要因とはならない。
注) 令和8年度 病害虫発生予察情報 技術情報 第3号参照

(3) シンクイムシ類

予報内容
発生地方 県内ナシ栽培地帯
発生時期 平年並
発生量 平年並～やや多い

予報の根拠

- ① 性フェロモントラップでのナシヒメシンクイの初誘殺は3月30日、累積誘殺数は44頭(平年33.8頭)といずれも平年並みある。
- ② 前年の性フェロモントラップでのナシヒメシンクイ第3世代成虫の誘殺数は平年並みであり、越冬量は平年並みと考えられる。
- ③ 5月の気象は、本種の発生にやや助長的である。

(4) ハマキムシ類

予報内容
発生地方 県内ナシ栽培地帯
発生時期 やや早い
発生量 やや多い

予報の根拠

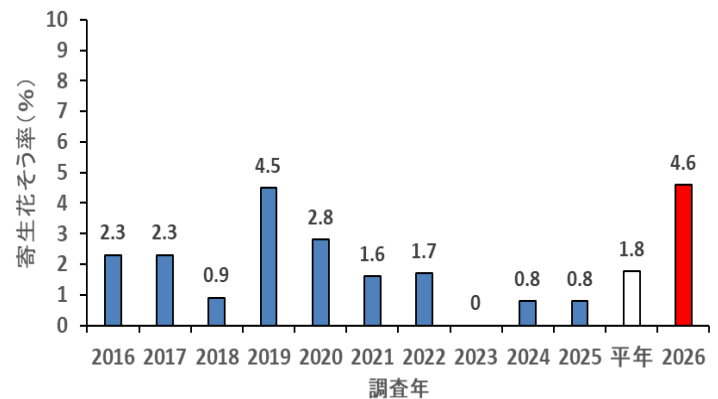
- ① 性フェロモントラップでのチャノコカクモンハマキの初誘殺は3月24日と平年よりもやや早い。
- ② 4月の性フェロモントラップでの累積誘殺数は、チャハマキは8頭(平年6.2頭)、チャノコカクモンハマキは28頭(平年21.9頭)とやや多い。
- ③ 5月の気象は、本種の発生を抑制する要因とはならない。

(5) ハダニ類

予報内容
発生地方 県内ナシ栽培地帯
発生量 やや多い

予報の根拠

- ① 4月下旬の巡回調査(安来市)では、発生ほ場率は28.5%(平年36.9%)と平年並み、寄生花そう率は4.6%(平年1.8%)と平年に比べてやや多い。
- ② 発生量の多いほ場が一部認められた。
- ③ バンドトラップ調査では、ハダニ類の越冬量は平年並みである。
- ④ 5月の気象は、本種の発生を抑制する要因とはならない。



ナシにおけるハダニ類の寄生花そう率の推移(4月下旬)

2) カキ

(1) 灰色かび病

予報内容
発生地方 県内カキ栽培地帯
発生量 やや多い

予報の根拠

- ① 4月下旬の巡回調査では発病葉率0.9%(平年の発病葉率0.3%)と、発生量は平年に比べてやや多い。
- ② 5月の気象は、本病の発生を抑制する要因とはならない。

(2) カキクダアザミウマ

予報内容
発生地方 県内カキ栽培地帯
発生時期 平年並
発生量 平年並

予報の根拠

- ① 4月までに黄色粘着トラップで越冬成虫の誘殺は認めていない。
- ② 4月下旬の巡回調査では、巻葉被害を認めていない。
- ③ 5月の気象は、本種の発生にやや助長的である。

C. 野菜

1) タマネギ

(1) ボトリチス属菌による葉枯れ

予報内容
発生地方 県内全域
発生量 やや多い

予報の根拠

- ① 4月下旬の巡回調査では、発生ほ場率16.7%(平年10.9%)、発病株率0.4%

- (平成 0.3%)と、発生量は平年に比べてやや多い。
② 5月の気象は、本病の発生を特に抑制する要因とはならない。

(2) ベと病

予報内容
発生地方 県内全域
発生量 平年並～やや多い

予報の根拠

- ① 4月下旬の巡回調査では、発生ほ場率 33.3% (平年 32.5%)、発病株率 0.7% (平年 3.5%)と、発生量は平年並みである。
② 5月の気象は、本病の発生にやや助長的である。

(3) 腐敗病、軟腐病

予報内容
発生地方 県内全域
発生量 やや多い～多い

予報の根拠

- ① 4月下旬の巡回調査では、発生ほ場率 63.3% (平年 48.4%)、発病株率 3.6% (平年 3.2%)と、発生量は平年に比べてやや多い。
② 5月の気象は、本病の発生にやや助長的である。

2) イチゴ

(1) 灰色かび病

予報内容
発生地方 県内全域
発生量 平年並

予報の根拠

- ① 4月下旬の巡回調査では、発病葉率 0.2% (平年 0.5%)、発病果率 0.1% (平年 0.1%)と、発生量は平年並みである。
② 5月の気象は、本病の発生を助長する要因とはならない。

(2) うどんこ病

予報内容
発生地方 県内全域
発生量 平年並

予報の根拠

- ① 4月下旬の巡回調査では、発病葉率 0.1% (平年 0.1%)、発病果率 0.3% (平年 0.3%)と、発生量は平年並みである。
② 5月の気象は、本病の発生を特に助長する要因とはならない。

(3) アブラムシ類

予報内容
発生地方 県内全域
発生量 やや多い

予報の根拠

- ① 4月下旬の巡回調査では、発生ほ場率は 44.4% (平年 22.1%)とやや多く、寄生株率は 13.9% (平年 5.7%)、寄生小葉率は 4.5% (平年 2.3%)とやや多い。
② 現在までの黄色水盤への有翅虫の累積飛来量は平年より少ない。
③ 発生株率の高いほ場が一部認められた。
④ 5月の気象は、本種の発生を抑制する要因とはならない。

(4) ナミハダニ

予報内容
発生地方 県内全域
発生量 やや少ない～平年並

予報の根拠

- ① 4月下旬の巡回調査では、発生ほ場率は 88.9% (平年 74.8%)と平年並み、寄生株率は 42.2% (平年 49.2%)、寄生小葉率は 21.2% (平年 35.8%)とやや少ない。
② 5月の気象は、本種の発生にやや助長的である。

【参考となる事項】

※最新の農薬登録状況

農林水産省ホームページには、農薬登録情報提供システムが掲載されています。
農林水産省農薬登録情報提供システムのアドレスは <https://pesticide.maff.go.jp/>

島根県病害虫防除所 (島根県農業技術センター 資源環境研究部 病虫科)
〒693-0035 出雲市芦渡町2440
TEL 0853-22-6772、FAX 0853-24-3342、e-mail boujyo@pref.shimane.lg.jp、
URL http://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/gijutsu/nougyo_tech/byougaityuu/